

## 乳幼児健康診査における軽度発達障害児の発見・支援に関する調査

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

### <調査票の記入についてのお願い>

1. ご記入は、貴機関の乳幼児健康診査の実状を把握されている母子保健担当の保健師さんをお願いいたします。
2. ご記入に際しましては、同封の別紙「調査の趣旨」にお目通してください。
3. 調査結果は整理し、調査協力機関名が特定されないように配慮したうえで、報告書を刊行します。調査にご協力いただきました機関には、報告書をお送りします。
4. 調査票は、平成18年3月22日（水）までにご返送ください。
5. 貴機関の乳幼児健康診査で用いられている問診時診査票などがありましたら、お手数でもご同封ください。

記入年月日：平成 年 月 日

機関名： 県 市 課 センター  
(送付先に変更のある場合：所在地 )

担当部署名：

記入者名（職名）：

連絡先：電話 FAX  
E-メール

\*この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

教育相談センター・教育相談研究室 大柴文枝

電話：046-848-4121（内線278） / 046-839-6878（直通）

FAX：046-839-6919

E-メール：ohshiba@nise.go.jp





【5】<1歳6か月児健診>、<3歳（3歳6か月）児健診>で実施されている個別相談のうち、心理（発達）相談について伺います。

(1) 心理（発達）相談の場を設けていますか。

<1歳6か月児健診>

1. はい 2. いいえ

<3歳（3歳6か月）児健診>

1. はい 2. いいえ

(2) 上記(1)で「1. はい」に○をつけた方は次の問いにお答えください。

相談の内容は、どのような問題が多いですか。<1歳6か月児健診>、<3歳（3歳6か月）児健診>について、多い項目をそれぞれ3つ選んで○をつけてください。その他に実施していることがありましたら、（ ）内に記入してください。

<1歳6か月児健診>

1. 運動発達
2. 精神発達
3. 言語発達
4. 行動・性格・習癖
5. 対人・社会性
6. 養育態度
7. 生活習慣
8. その他（ ）

<3歳（3歳6か月）児健診>

1. 運動発達
2. 精神発達
3. 言語発達
4. 行動・性格・習癖
5. 対人・社会性
6. 養育態度
7. 生活習慣
8. その他（ ）

【6】心理・発達面でのリスクが疑われフォローを必要とするお子さんの処遇について伺います。  
<1歳6か月児健診>、<3歳（3歳6か月）児健診>についてお答えください。

(1) 心理・発達面でのリスクが疑われフォローを必要とするお子さんに対しどのような処遇を行っていますか。該当する番号に○をつけてください（複数回答可）。6は実施していること（例：在籍機関訪問）を記入してください。（集団で指導する事後指導については【7】で伺います。）

<1歳6か月児健診>

1. 経過観察日を設けて個別相談
2. 電話相談
3. 家庭訪問指導
4. 経過検診の紹介
5. 専門機関（ ）に紹介
6. その他（ ）

<3歳（3歳6か月）児健診>

1. 経過観察日を設けて個別相談
2. 電話相談
3. 家庭訪問指導
4. 経過検診の紹介
5. 専門機関（ ）に紹介
6. その他（ ）

(2) 上記(1)で「1. 経過観察日を設けて個別相談」に○をつけた方は、次の問にお答えください。

1) 経過観察の担当スタッフの職種を○で囲んでください（複数回答可）。その他の職種の方が担当している場合は、（ ）内に記入してください。

<1歳6か月児健診>

- 1.保健師 2.心理職 3.医師 4.保育士 5.その他（ ）

< 3歳（3歳6か月）児健診 >

1.保健師 2.心理職 3.医師 4.保育士 5.その他（ ）

2) 経過観察の実施回数についてお答えください。

	1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
1か月あたりの回数	回	回
年間の回数	回	回

3) 1人の子どもの相談回数について伺います。該当するものに○をつけてください。（ ）内には回数を記入して下さい。

< 1歳6か月児健診 >

- 1.回数が決まっている。（ ）回  
2.回数に制限がない。

< 3歳（3歳6か月）児健診 >

- 1.回数が決まっている。（ ）回  
2.回数に制限がない。

(3) 上記(1)の「5. 専門機関に紹介」に○をつけた方に伺います。専門機関から、結果のフィードバックはありますか。

< 1歳6か月児健診 >

1. はい 2. いいえ

< 3歳（3歳6か月）児健診 >

1. はい 2. いいえ

【7】心理・発達面でのリスクが疑われフォローを必要とするお子さんを集団で指導する事後指導について伺います。< 1歳6か月児健診 >、< 3歳（3歳6か月）児健診 >についてお答えください。

(1) 心理・発達面でのリスクが疑われるお子さんに対するフォローの一環として、複数の親子を集団で指導する事後指導の場（「親子教室」「遊びの会」など）を設けていますか。

< 1歳6か月児健診 >

1. はい 2. いいえ

< 3歳（3歳6か月）児健診 >

1. はい 2. いいえ

(2) 上記(1)で「1. はい」と回答された方は、以下の問いにお答えください。

1) どのようなお子さんを対象にしていますか。該当するものに○をつけて下さい（複数回答可）。とくに重視しているものには◎をつけて下さい。その他の場合、（ ）内に記入して下さい。

	1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
1. 言語発達や精神発達の遅れが認められる子ども	1	1
2. とくに遅れというほどではないが気になる子ども	2	2
3. 動きが多く落ち着きのなさが気になる子ども	3	3
4. 母子関係など対人関係が気になる子ども	4	4
5. 親指導を必要とする子ども	5	5
6. 遊び場や遊び仲間が不足している子ども	6	6
7. その他（ ）	7	7

2) 集団指導の参加形態および頻度について伺います。該当する番号に○をつけてください（複数回答可）。（ ）内には数字を記入して下さい。その他の場合、（ ）内に記入して下さい。

< 1歳6か月児健診 >

1. 一組の親子が参加できる期間または回数が決まっている。  
1クール ( ) か月 ( ) 回
2. ( ) 歳までは自由に参加できる。 1年間に ( ) 回
3. その他 ( )

< 3歳（3歳6か月）児健診 >

1. 一組の親子が参加できる期間または回数が決まっている。  
1クール ( ) か月 ( ) 回
2. ( ) 歳までは自由に参加できる。 1年間に ( ) 回
3. その他 ( )

3) 複数の親子を集団で指導する事後指導の場（「親子教室」「遊びの会」など）について、1回あたりのスタッフの職種と人数についてお答えください。該当する職種に○をつけ、4と5については、具体的に職種などを（ ）内に記入して下さい。

< 1歳6か月児健診 >

1. 保健師 ( ) 人
2. 心理職 ( ) 人
3. 保育士 ( ) 人
4. 教育関係職 ( ) ( ) 人
5. その他 ( ) ( ) 人

< 3歳（3歳6か月）児健診 >

1. 保健師 ( ) 人
2. 心理職 ( ) 人
3. 保育士 ( ) 人
4. 教育関係職 ( ) ( ) 人
5. その他 ( ) ( ) 人

【8】昨年度（平成16年度）実施した< 1歳6か月児健診 >、< 3歳（3歳6か月）児健診 >の受診者、およびこれら受診者のうちで健診以降のフォローにおいて、発達障害(自閉症など)や軽度発達障害(知的障害を伴わないADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)のリスクが疑われたお子さんの処遇について伺います。

(1) 発達障害(自閉症など)や軽度発達障害(知的障害を伴わないADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)のリスクが疑われフォローを必要とするお子さんで、他機関を紹介するに至らなかった場合について伺います。該当するケース数を表に記入して下さい（重複回答可）。1歳6か月児健診については、発達障害(自閉症など)リスク児についてのみ、記入して下さい。

1) 健診を受診しただけで、その後の対応ができなかったケース

	1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
発達障害（自閉症など）リスク児	件	件
軽度発達障害リスク児		件

2) 電話相談や家庭訪問指導を実施したケース

	1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
発達障害（自閉症など）リスク児	件	件
軽度発達障害リスク児		件

3) 個別の経過観察を実施したケース

	1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
発達障害（自閉症など）リスク児	件	件
軽度発達障害リスク児		件

4) 親子教室などの集団指導を実施したケース

	1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
発達障害（自閉症など）リスク児	件	件
軽度発達障害リスク児		件

(2) 発達障害（自閉症など）や軽度発達障害(知的障害を伴わないADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)のリスクが疑われフォローを必要とするお子さんで、他機関へ紹介された場合について伺います。次に示す機関へ紹介したケースは何件ありましたか。表に数字を記入してください（重複回答可）。1歳6か月児健診については、発達障害(自閉症など)リスク児についてのみ、記入してください。

		1歳6か月児健診	3歳（3歳6か月）児健診
1 児童相談所	発達障害		
	軽度発達障害		
2 教育センター	発達障害		
	軽度発達障害		
3 通園施設	発達障害		
	軽度発達障害		
4 保育園・幼稚園	発達障害		
	軽度発達障害		
5 大学等の研究機関	発達障害		
	軽度発達障害		
6 病院 ( )	発達障害		
	軽度発達障害		
7 教育関係機関 ( )	発達障害		
	軽度発達障害		
8 その他 ( )	発達障害		
	軽度発達障害		

注1) 6の( )内には、○科（小児神経科など）と具体的に記入してください。

注2) 7の( )内には、学校種など（養護学校、小学校のこたばの教室など）を具体的に記入してください。

注3) 8の( )内には、紹介先の機関名を具体的に記入してください。

【9】他機関との連携についてお伺いします。

(1) 上記【8】の(2)に記した紹介機関との連携はどのように行われていますか。精密健康診査依頼書以外の他機関との連携の方法について、記入してください。

(2) 発達障害(自閉症など)や軽度発達障害(知的障害を伴わないADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)のリスクのあるお子さんの在籍機関(幼稚園、保育所、小学校、養護学校など)から、a 健診時の様子やその後の経過について問い合わせを受けることや、b 対応や配慮の仕方について指導を求められることがありますか。

1. ある

2. ない

(3) 上記(2)で「1. ある」と答えた方は、上記(2)のa、bで該当するものに○をつけ、その機関種名を( )内に記入してください(複数回答可)。

1. a 問い合わせを受ける。 機関種( )  
2. b 指導を求められる。 機関種( )

【10】貴機関で実施している乳幼児健診事業における連携について伺います。該当する番号に○をつけてください(複数回答可)。その他の場合、( )内に具体的に記入してください。

1. 乳児健診から3歳(3歳6か月)児健診まで同一のカルテを使用して、一括管理  
2. スタッフの応援(例:1歳6か月児健診のスタッフが3歳児健診を手伝う等)  
3. 情報の交換  
4. 連絡会(例:定期的にスタッフが会合をもつ等)  
5. その他( )

【11】発達障害(自閉症など)や軽度発達障害(知的障害を伴わないADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)のリスクが疑われるお子さんを発見する機会について伺います。

(1) 貴機関では<1歳6か月児健診>、<3歳(3歳6か月)児健診>以外に、発達障害(自閉症など)や軽度発達障害(知的障害を伴わないADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)のリスクが疑われるお子さんを発見するような健診(例:2歳児健診、5歳児健診など)がありますか。

1. ある

2. ない

(2) 上記(1)で、「1. ある」と答えられた方は、その健診の実施時期と方法・内容について具体的に記入してください。

① 健診の実施時期 ( )

② 方法・内容 ( )

【12】乳幼児健診にたずさわる保健師さんなどの研修について伺います。

(1) 貴機関では発達障害（自閉症など）、とくに軽度発達障害(知的障害を伴わない ADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害)について研修の機会がありますか。  
該当する番号に○をつけてください。

1. ある

2. ない

(2) 上記(1)で、「1. ある」と答えられた方は、研修の回数、内容、講師（例：医師、教育関係者など）などについて ( ) 内にお答えください。

① 研修回数 年間 ( ) 回、 1回 ( ) 時間、 講師 ( )

② 研修内容 ( )

③ 今後、必要と思われる研修内容 ( )

【13】これからの健診のあり方について、ご意見やご感想がありましたらご自由にお書きください。どのようなことでも結構です。

☆調査にご協力いただきありがとうございました。



# 個別的な配慮・支援・工夫を要する幼児の発見・支援に関する調査

## 〈 幼稚園 〉

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

〈調査票の記入についてのお願い〉

1. ご記入は、貴園に現在在園している幼児、および過去3年間の卒園児の実状を把握されている方をお願いいたします。
2. 調査結果は整理し、調査に協力いただいた幼稚園が特定されないように配慮したうえで、報告書を刊行します。調査にご協力いただきました機関には、報告書をお送りします。
3. 調査票は、平成18年3月22日（水）までにご返送ください。

記入年月日：平成 年 月 日

幼稚園名：

（送付先に変更のある場合：所在地 )

記入者名（職名）：

連絡先：電話

FAX

E-メール

\*この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

教育相談センター・教育相談研究室 大柴文枝

電話：046-848-4121（内線278） / 046-839-6878（直通）

FAX：046-839-6919

E-メール：ohshiba@nise.go.jp

【1】今年度（平成17年度）、貴園に在籍している幼児の人数および担当する職員数などについて伺います。次の表に該当する数を記入して下さい。3歳未満児保育、3・4・5歳児保育以外の保育を実施している場合は、その他に記入して下さい。

	幼児の人数	クラス数	担当教員数
3歳未満児保育			
3歳児保育			
4歳児保育			
5歳児保育			
その他( )			

注1) その他については、( )内に具体的に保育内容を記入して下さい。

【2】貴園に在籍している幼児、および在籍していた幼児について伺います。

(1) 貴園には、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている幼児が現在（平成17年度）在園していますか。あるいは過去3年間（平成14・15・16年度）に在園したことがありますか。該当するものに○をつけて下さい。

1. 現在（平成17年度）在園している。
2. 現在はいないが過去3年間（平成14・15・16年度）に在園していたことがある。
3. 現在も過去3年間にも在園したことがない。

(2) 上記(1)で「1. 現在（平成17年度）在園している」と答えられた方に伺います。

1) 各クラスに在園している幼児のうちで個別的な配慮・支援・工夫を必要としている子どもさんの人数を、表内に記入して下さい。

3歳未満児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	その他
人	人	人	人	人

2) 上記1)の幼児の中で、「発達障害(自閉症など)」と専門機関などで診断されていることを、貴園が把握されている子どもさんはいますか。いる場合は、その人数を表内に記入して下さい。

3歳未満児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	その他
人	人	人	人	人

3) 上記1)の幼児の中で、「軽度発達障害(ADHD、高機能自閉症、アスペルガー障害など)」あるいは、「軽度発達障害の疑い」と専門機関などで診断されていることを、貴園が把握されている子どもさんはいますか。いる場合は、その人数を表内に記入して下さい。

3歳未満児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	その他
人	人	人	人	人

- 4) 上記 1)の幼児の中で、「特殊教育補助」の対象になっている子どもさんはいますか。  
いる場合は、その人数を表内に記入して下さい。

3歳未満児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	その他
人	人	人	人	人

- (3) 上記(1)で「2. 現在はいないが過去3年間（平成14・15・16年度）に在園していたことがある」と答えられた方に伺います。

- 1) 次に示す年度に卒園した幼児のうちで、個別的な配慮・支援・工夫を必要としていた子どもさんの人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒園児	平成15年度卒園児	平成16年度卒園児
人	人	人

- 2) 上記 1)の幼児の中で、「発達障害(自閉症など)」と専門機関などで診断されていることを、貴園が把握されていた子どもさんはいましたか。いた場合は、その人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒園児	平成15年度卒園児	平成16年度卒園児
人	人	人

- 3) 上記 1)の幼児の中で、「軽度発達障害(ADHD、高機能自閉症、アスペルガー障害など)」あるいは、「軽度発達障害の疑い」と専門機関などで診断されていることを、貴園が把握されていた子どもさんはいますか。いた場合は、その人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒園児	平成15年度卒園児	平成16年度卒園児
人	人	人

- 4) 上記 1)の幼児の中で、「特殊教育補助」の対象になっていた子どもさんはいましたか。いた場合は、その人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒園児	平成15年度卒園児	平成16年度卒園児
人	人	人

- 【3】上記【2】の(1)の質問で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている幼児が「1. 現在（平成17年度）在園している」と答えられた方に伺います。

- (1)「現在（平成17年度）在園している」その子どもさんは、どのような状態の子どもさんですか。該当する人数を表内に記入して下さい。1人の子どもさんが示している状態は全てカウントして下さい（複数回答可）。子どもさんが示している状態が「その他」の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

	3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	その他
指示に従わない					
集団行動ができない					
人と係わることが苦手					
動きが多く落ち着きがない					
高い所に上がることが好き					
こだわりが強い					
ある面で年齢相応以上の知識がある					
突然、他児を殴ったり押したりする					
その他 ( )					
その他 ( )					

(2) その子どもさんに気づかれたのはどのような時期（機会）ですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、( )内に具体的に記入して下さい。

	3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	その他
入園前（願書受付時）					
入園前（保護者面接時）					
入園前（体験入園時）					
入園前（その他）					
3歳児保育時					
4歳児保育時					
5歳児保育時					
3歳(3歳6か月)児健康診査時					
医療機関の受診時					
医療機関以外の専門機関で相談時					
就学時健康診断時					
その他 ( )					

(3) その子どもさんに気づかれたのはどなたですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、( )内に具体的に記入して下さい。

	3歳未満児	3歳児	4歳児	5歳児	その他
保護者					
担当教員					
園長					
幼稚園職員(担当教員・園長以外)					
嘱託医					
乳幼児健康診査のスタッフ					
医療機関の医師					
専門機関のスタッフ					
その他 ( )					

【4】上記【2】の(1)の質問で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としていた幼児が「2. 現在は無いが過去3年間（平成14・15・16年度）に在園していたことがある」と答えられた方に伺います。

(1) 平成14・15・16年度に卒園した幼児で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としていた子どもさんは、どのような状態の子どもさんでしたか。該当する人数を表内に記入して下さい。1人の子どもさんが示している状態は全てカウントして下さい（複数回答可）。子どもさんが示している状態が「その他」の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

	14年度卒園児	15年度卒園児	16年度卒園児
指示に従わない			
集団行動ができない			
人と係わることが苦手			
動きが多く落ち着きがない			
高い所に上がることが好き			
こだわりが強い			
ある面で年齢相応以上の知識がある			
突然、他児を殴ったり押したりする			
その他（ ）			
その他（ ）			

(2) その子どもさんに個別的な配慮・支援・工夫が必要であると気づかれたのはどのような時期（機会）ですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、（ ）内に記入して下さい。

	14年度卒園児	15年度卒園児	16年度卒園児
入園前（願書受付時）			
入園前（保護者面接時）			
入園前（体験入園時）			
入園前（その他）			
3歳児保育時			
4歳児保育時			
5歳児保育時			
3歳(3歳6か月)児健康診査時			
医療機関の受診時			
医療機関以外の専門機関で相談時			
就学時健康診断時			
その他（ ）			

(3) その子どもさんに個別的な配慮・支援・工夫が必要であることに気づかれたのはどなたですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、( )内に記入して下さい。

	14年度卒園児	15年度卒園児	16年度卒園児
保護者			
担当教員			
園長			
幼稚園職員(担当教員・園長以外)			
嘱託医			
乳幼児健康診査のスタッフ			
医療機関の医師			
専門機関のスタッフ			
その他 ( )			

【5】上記【2】の(1)の質問で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている(必要としていた)子どもさんが「1. 現在(平成17年度)在園している」、あるいは「2. 現在はいないが過去3年間(平成14・15・16年度)に在園していたことがある」と答えられた方に伺います。

(1) 個別的な配慮・支援・工夫を必要としている(必要としていた)子どもさんについて、専門機関や医師などに相談されたことがありますか。該当するものに○をつけて下さい。「1. ある」と答えた方は、相談された機関名、職種名を( )内に記入して下さい。

1. ある(機関名・職種名: )
2. ない

(2) 個別的な配慮・支援・工夫を必要としている(必要としていた)子どもさんへの対応において、貴園ではどのようなことが行われていますか、また、行なわれていましたか。該当するものに○をつけて下さい(複数回答可)。貴園が行っていること(行ってきたこと)が、1~12以外の場合、「13.その他」に○をして、( )内に具体的に記入して下さい。

1. 担任によるきめ細かな配慮
2. 担任外職員の配置
3. 幼稚園の全職員で配慮する保育体制をとっている。
4. 医師などの専門家との連携
5. 専門機関との連携
6. 保護者指導あるいは支援
7. 個別の保育(指導)計画を作成して、保育を行っている。
8. 教材・教具を工夫している。
9. 遊具を工夫している。
10. 保育環境の設定に配慮している。
11. 自治体などの行っている巡回相談を活用している。
12. 自治体などが設けている専門家チームに相談している。
13. その他 ( )

(3) どのような外部機関（上記(1)、(2)への回答を含め）と連携されていますか。連携の実態について、具体的に記述して下さい。

(4) 就学に際して、教育委員会や小学校との連携はどのように行われていますか。該当するものに○をつけて下さい（複数回答可）。その他の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

1. 保護者に説明して了解を得た上で、就学指導委員会などに資料を報告している。
2. 幼稚園・保育所・小学校連絡協議会で情報を交換している。
3. 入学前に、小学校から幼稚園に子どもの様子を観察にくる。
4. 小学校を訪問する等で連携している。
5. 小学校から幼稚園に、在園中の様子について情報を求めてくるので、保護者に説明して了解を得た上で、文書で報告している。
6. 連携していない。
7. その他（ ）

【6】すべての幼稚園に伺います。

(1) 次の 1)と 2)についてお答えください。

1) 入園時あるいは入園後に、子どもさんのこれまでの生育歴等を保護者にたずねておられますか。該当する番号に○をつけて下さい。

1. はい
2. いいえ

2) 上記 1)で「1. はい」と答えられた方に伺います。

どのような方法で保護者にたずねていますか。該当する番号に○をつけて下さい（複数回答可）。その他の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

1. 所定の様式を用意して、記入をお願いしている。
2. 懇談会などの折に個別にたずねている。
3. その他（ ）

(2) 市の保健センターや保育所などとの連携はありますか。該当するものに○をつけて下さい（複数回答可）。その他の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

1. 保健センター主催の親子教室などとの連携がある。
2. 保育所や療育センターなどとの連絡会を開催している。
3. 保健師や家庭相談員との連携がある。
4. その他（ ）

(3) 職員研修について伺います。該当するものに○をつけて下さい（複数回答可）。その他、実施している研修などがある場合は、( ) 内に具体的に記入して下さい。

1. 軽度発達障害（ADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害など）等の研修会を外部から講師を招いて実施している。
2. 県や市などが主催する研修会に参加している。
3. 専門家等から指導を受けている。
4. その他（ )

【7】 個別的な配慮・支援・工夫を必要としている幼児の保育のあり方などについて、ご意見やご感想がありましたらご自由にお書きください。どのようなことでも結構です。

<ご協力ありがとうございました。>

## 個別的な配慮・支援・工夫を要する幼児の発見・支援に関する調査

### 〈 保育所 〉

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

#### 〈調査票の記入についてのお願い〉

1. ご記入は、貴保育所に現在在籍している乳幼児、および過去3年間に卒業した幼児の実状を把握されている方をお願いいたします。
2. 調査結果は整理し、調査に協力いただいた保育所が特定されないように配慮したうえで、報告書を刊行します。調査にご協力いただきました機関には、報告書をお送りします。
3. 調査票は、平成18年3月22日（水）までにご返送ください。

記入年月日：平成 年 月 日

保育所名：

（送付先に変更のある場合：所在地 ）

記入者名（職名）：

連絡先：電話

FAX

E-メール

\*この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

教育相談センター・教育相談研究室 大柴文枝

電話：046-848-4121（内線278） / 046-839-6878（直通）

FAX：046-839-6919

E-メール：ohshiba@nise.go.jp

【1】今年度（平成17年度）、貴保育所に在籍している乳幼児の人数および担当する職員数などについて伺います。次の表に該当する数を記入して下さい。

	乳幼児の人数	クラス数	担当保育士数
0歳児保育			
1歳児保育			
2歳児保育			
3歳児保育			
4歳児保育			
5歳児保育			

【2】貴保育所に在籍している、および在籍していた乳幼児について伺います。

(1) 貴保育所には、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている乳幼児が現在（平成17年度）在籍していますか。あるいは過去3年間（平成14・15・16年度）に在籍したことがありますか。該当するものに○をつけて下さい。

1. 現在（平成17年度）在籍している。
2. 現在はいないが過去3年間（平成14・15・16年度）に在籍していたことがある。
3. 現在も過去3年間にも在籍したことがない。

(2) 上記(1)で「1. 現在（平成17年度）在籍している」と答えられた方に伺います。

1) 各クラスに在籍している乳幼児のうちで個別的な配慮・支援・工夫を必要としている子どもさんの人数を、表内に記入して下さい。

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
人	人	人	人	人	人

2) 上記1)の乳幼児の中で、「発達障害(自閉症など)」と専門機関などで診断されていることを、貴保育所が把握されている子どもさんはいますか。いる場合は、その人数を表内に記入して下さい。

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
人	人	人	人	人	人

3) 上記1)の乳幼児の中で、「軽度発達障害(ADHD、高機能自閉症、アスペルガー障害など)」あるいは、「軽度発達障害の疑い」と専門機関などで診断されていることを、貴保育所が把握されている子どもさんはいますか。いる場合は、その人数を表内に記入して下さい。

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
人	人	人	人	人	人

4) 上記1)の乳幼児の中で、「障害児保育補助」の対象になっている子どもさんはいますか。  
いる場合は、その人数を表内に記入して下さい。

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
人	人	人	人	人	人

(3) 上記(1)で「2. 現在はいないが過去3年間（平成14・15・16年度）に在籍していたことがある」と答えられた方に伺います。

1) 次に示す年度に貴保育所を卒業した幼児のうちで、個別的な配慮・支援・工夫を必要としていた子どもさんの人数を、表内に記入して下さい。

平成14年度卒業児	平成15年度卒業児	平成16年度卒業児
人	人	人

2) 上記1)の幼児の中で、「発達障害(自閉症など)」と専門機関などで診断されていることを、貴保育所が把握していた子どもさんはいましたか。いた場合は、その人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒業児	平成15年度卒業児	平成16年度卒業児
人	人	人

3) 上記1)の幼児の中で、「軽度発達障害(ADHD、高機能自閉症、アスペルガー障害など)」あるいは、「軽度発達障害の疑い」と専門機関などで診断されていることを、貴保育所が把握されていた子どもさんはいますか。いた場合は、その人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒業児	平成15年度卒業児	平成16年度卒業児
人	人	人

4) 上記1)の幼児の中で、「障害児保育補助」の対象になっていた子どもさんはいましたか。いた場合は、その人数を表内に記入して下さい。

平成14年度卒園児	平成15年度卒園児	平成16年度卒園児
人	人	人

【3】上記【2】の(1)の質問で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている乳幼児が「1. 現在（平成17年度）在籍している」と答えられた方に伺います。

- (1)「現在（平成17年度）在籍している」乳幼児で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている子どもさんは、どのような状態の子どもさんですか。該当する人数を表内に記入して下さい。  
1人の子どもさんが示している状態は全てカウントして下さい。子どもさんが示している状態が「その他」の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
指示に従わない					
集団行動ができない					
人と係わることが苦手					
動きが多く落ち着きがない					
高い所に上がることが好き					
こだわりが強い					
ある面で年齢相応以上の知識がある					
突然、他児を殴ったり、押したりする					
その他（ ）					
その他（ ）					

- (2) そのお子さんに個別的な配慮・支援・工夫が必要であると気づかれたのはどのような時期（機会）ですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
入所前					
0歳児保育時					
1歳児保育時					
2歳児保育時					
3歳児保育時					
4歳児保育時					
5歳児保育時					
1歳6か月児健康診査時					
3歳(3歳6か月)児健康診査時					
医療機関の受診時					
医療機関外の専門機関で相談時					
就学時健康診断時					
その他（ ）					

注) 入所前は、願書受付時・保護者面接時・保健センター等の紹介状等を指す

(3) そのお子さんに個別的な配慮・支援・工夫が必要であることに気づかれたのはどなたですか。  
 該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、( ) 内に具体的に記入して下さい。

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
保護者					
担当保育士					
所長					
保育所職員(担当保育士・所長以外)					
嘱託医					
乳幼児健康診査のスタッフ					
医療機関の医師					
専門機関のスタッフ					
その他 ( )					
その他 ( )					

【4】 上記【2】の(1)の質問で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている乳幼児が  
 「2. 現在はいないが過去3年間(平成14・15・16年度)に在籍していたことがある」と  
 答えられた方に伺います。

(1) 平成14・15・16年度に保育所を卒業した幼児で、個別的な配慮・支援・工夫を必要として  
 いた子どもさんは、どのような状態の子どもさんでしたか。該当する人数を表内に記入して下  
 さい。1人の子どもさんが示している状態は全てカウントして下さい。子どもさんが示してい  
 る状態が「その他」の場合、( ) 内に具体的に記入して下さい。(複数回答可)

	14年度卒業児	15年度卒業児	16年度卒業児
指示に従わない			
集団行動ができない			
人と係わることが苦手			
動きが多く落ち着きがない			
高い所に上がることが好き			
こだわりが強い			
ある面で年齢相応以上の知識がある			
突然、他児を殴ったり押したりする			
その他 ( )			
その他 ( )			

(2) その子どもさんに個別的な配慮・支援・工夫が必要であると気づかれたのはどのような時期（機会）ですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、（ ）内に記入して下さい。

	14年度卒業児	15年度卒業児	16年度卒業児
入所前			
0歳児保育時			
1歳児保育時			
2歳児保育時			
3歳児保育時			
4歳児保育時			
5歳児保育時			
1歳6か月児健康診査時			
3歳(3歳6か月)児健康診査時			
医療機関の受診時			
医療機関外の専門機関で相談時			
就学時健康診断時			
その他（ ）			

注) 入所前は、願書受付時・保護者面接時・保健センター等の紹介状等を指す

(3) その子どもさんに個別的な配慮・支援・工夫が必要であることに気づかれたのはどなたですか。該当する人数を記入して下さい。「その他」の場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。

	14年度卒業児	15年度卒業児	16年度卒業児
保護者			
担当保育士			
所長			
保育所職員(担当保育士・所長以外)			
囑託医			
乳幼児健康診査のスタッフ			
医療機関の医師			
専門機関のスタッフ			
その他（ ）			

【5】上記【2】の(1)の質問で、個別的な配慮・支援・工夫を必要としている（必要としていた）乳幼児が「1. 現在（平成17年度）在籍している」、あるいは「2. 現在はいないが過去3年間（平成14・15・16年度）に在籍していたことがある」と答えられた方に伺います。

(1) 個別的な配慮・支援・工夫を必要としている（必要としていた）子どもさんについて、専門機関や医師などに相談されたことがありますか。該当するものに○をつけて下さい。

「1. ある」と答えた方は、相談された機関名、職種名を（ ）内に記入して下さい。

1. ある

(機関名・職種名： )

2. ない

(2) 個別的な配慮・支援・工夫を必要としている（必要としていた）子どもさんへの対応において、貴保育所ではどのようなことを行っていますか、また、行っていましたか。該当するものに○をつけて下さい（複数回答可）。貴保育所が行っていること（行ってきたこと）が、1～12以外の場合、「13.その他」に○をして、（ ）内に記入して下さい。

1. 担任によるきめ細かな配慮

2. 担任外職員の配置

3. 保育所の全職員で配慮する保育体制をとっている。

4. 医師などの専門家との連携

5. 専門機関との連携

6. 保護者指導あるいは支援

7. 個別の保育（指導）計画を作成して、保育を行っている。

8. 教材・教具を工夫している。

9. 遊具を工夫している。

10. 保育環境の設定に配慮している。

11. 自治体などの行っている巡回相談を活用している。

12. 自治体などが設けている専門家チームに相談している。

13. その他（ )

(3) どのような外部機関（上記(1)、(2)への回答を含め）と連携されていますか。連携の実態について、具体的に示して下さい。

(4) 次の1)、2)についてお答えください。

1) 幼稚園に転入した子どもさんはいますか。該当するものに○をつけて下さい。

1. ある

2. ない

2) 幼稚園との連携はどのようになさっていますか。該当するものに○をつけて下さい。  
その他の場合、( ) 内に具体的に連携方法を記入して下さい。

1. 幼稚園と保育所の連絡会が定期的にもたれている。
2. 書類で報告している。
3. 幼稚園から訪問を受け説明している。
4. 幼稚園へ出向いて説明している。
5. その他 ( )

(5) 就学に際して、教育委員会や小学校との連携はどのようにされていますか。該当するものに○をつけて下さい(複数回答可)。1～6以外の場合、「7. その他」に○をつけ、( ) 内に記入して下さい。

1. 保護者に説明して了解を得た上で、就学指導委員会などに資料を報告している
2. 幼稚園・保育所・小学校連絡協議会で情報交換している。
3. 入学前に、小学校から保育所に子どもの様子を観察にくる。
4. 小学校を訪問する等で連携している。
5. 小学校から保育所に、在籍中の様子について情報を求めてくるので、保護者に説明して了解を得た上で、文書で報告している。
6. 連携していない。
7. その他 ( )

【6】すべての保育所に伺います。

(1) 次の1)と2)についてお答えください。

1) 入所時 あるいは入所後に、子どもさんのこれまでの生育歴などを保護者にたずねておられますか。該当する番号に○をつけて下さい。

1. はい
2. いいえ

2) 上記1)で「1. はい」と答えられた方は、どのような方法でたずねているか、該当する番号に○をつけて下さい。「3. その他」の場合、( ) 内に具体的に記入して下さい。(複数回答可)

1. 所定の様式を用意して、記入をお願いしている。
2. 懇談会などの折に個別にたずねている。
3. その他 ( )

(2) 市の保健センターなどとの連携はありますか。該当するものに○をつけて下さい。その他の場合、( ) 内に具体的に記入して下さい。(複数回答可)

1. 保健センター主催の親子教室などとの連携がある。
2. 療育センターなどとの連絡会を開催している。
3. 保健師や家庭相談員との連携がある。
4. その他 ( )

(3) 職員研修について伺います。該当するものに○をつけて下さい。その他、実施している研修などがある場合は、( ) 内に具体的に記入して下さい。(複数回答可)

1. 軽度発達障害 (ADHD、LD、高機能自閉症、アスペルガー障害など) 等の研修会を外部から講師を招いて実施している。
2. 県や市などが主催する研修会に参加している。
3. 専門家等から指導を受けている。
4. その他 ( )

【7】 個別的な配慮・支援・工夫を必要としている乳幼児の保育のあり方などについて、ご意見やご感想がありましたらご自由にお書きください。どのようなことでも結構です。

<ご協力ありがとうございました。>

